

教育学部

■ 氏名	石田 雅子
■ 最終学歴	大阪市立大学大学院 文学研究科博士後期課程 言語文化学専攻言語応用学専修 単位取得満期退学
■ 学位	修士(言語文化学)
■ 担当科目	外国語(英語)科指導法、小中英語科指導法
■ 主な著書・論文	
論文	第二言語習得理論を基にした『コミュニケーション能力の素地を養う』小学校英語活動の研究と担当教員のための高学年必修英語授業のカリキュラム開発 (単著) 平成26年3月
論文	バイリンガルアプローチが子どもの第二言語習得に与える影響についてー在日朝鮮初級学校での朝鮮語イマージョン教育と英語の授業の観察からー (単著) 令和2年3月
論文	EFL環境においても自然な言葉の学びを子どもたちにー児童の第二言語習得認知プロセスに関する考察からー (単著) 令和3年3月
論文	インプット処理過程における予測と同期の役割についてー自然な英語の定着に向けてー (共著) 令和4年3月
■ その他	
発表	大阪教育大学外国語学習支援ルームGlobal Learning Community (GLC)の挑戦ー学生主体の『学びのコミュニティ』の構築を目指してー (共同) 平成28年10月
発表	大阪教育大学GLC&ランゲージチャットルームー教員養成に向けた多読の取り組みとはー (共同) 平成28年12月
発表	子どもの第二言語学習における母語活用についてー在日朝鮮初級学校における朝鮮語イマージョン教育と英語の授業の観点からー (単独) 令和2年10月
発表	インプットとアウトプットの関係の再考ー自然な言葉の学び方から意味のあるアウトプットへー (共同) 令和3年6月

教員情報(教職課程 非常勤講師)

看護学部

■ 氏名	井ノ上 恭子
■ 最終学歴	大阪府立大学大学院 総合リハビリテーション学研究科 博士前期課程
■ 学位	修士(保健学)
■ 担当科目	栄養学
■ 主な著書・論文	
著書	スタンダード人間栄養学 応用栄養学第3版 (共著) 令和3年4月
■ その他	
教育実践記録	コロナ禍におけるタクシー運転手の健康度と食生活習慣の実態 (共著) 令和4年2月
教育実践記録	居宅介護を必要とする高齢者の生活状況について (共著) 令和5年2月
教育実践記録	女子大学生における身体状況と健康度および生活習慣に関する実態調査 (共著) 令和5年2月
雑誌	維持血液透析患者の生活習慣と栄養状態の検討 (共著) 令和3年4月

芸術学部

■ 氏名	宇埜 直子
■ 最終学歴	神戸大学大学院文化科学研究科社会文化専攻 修了
■ 学位	博士(文学)
■ 担当科目	西洋美術史1
■ 主な著書・論文	
論文	ロザリオの聖母研究 (単著) 平成24年3月
論文	<マリア十五玄義図>再考-「神殿奉献」場面を中心に (単著) 平成26年2月
論文	イエズス会によるポローニャ、サンタ・ルチア聖堂の装飾事業について (単著) 平成27年2月
論文	ポローニャ、オラトリオ、ディ・サン・コロンバノにおける主題選択について (単著) 平成27年11月
論文	17世紀ポローニャ派による「聖母のもとに現れる復活したキリスト」祭壇画 (単著) 平成28年2月
論文	ポローニャ、オラトリオ・ディ・サン・コロンバーノ《哀悼》と《ゲッセマネの祈り》-ロレンツォ・ガルビエーリについて (単著) 平成30年2月
■ その他	
翻訳	ヴァザーリ「美術家列伝」全六巻 (共著) 平成28年

教員情報(教職課程 非常勤講師)

経営学部・国際観光学部・芸術学部

■ 氏名	榎井 縁
■ 最終学歴	大阪大学大学院博士後期課程 人間科学研究科人間科学専攻 単位取得退学
■ 学位	博士(人間科学)
■ 担当科目	人権と社会
■ 主な著書・論文	
著書	在日外国人の健康支援と医療通訳 (共著) 平成30年9月
著書	SDGsとまちづくり 持続可能な地域と学びづくり (共著) 平成31年3月
著書	外国人と共生する地域づくり—大阪・豊中の実践から見てきたもの (共著) 平成31年3月
著書	移民政策とは何か—日本の現実から考える (共著) 平成31年4月
著書	公立学校の外国籍教員～教員の生、「法理」という壁 (共著) 令和3年11月
論文	ニューカマーの子どもたちのいま (単著) 平成25年3月
論文	地域国際交流協会と多文化共生の行方 (単著) 平成25年5月
論文	地域・学校と次世代をつなぐ実践活動 (単著) 平成25年8月
論文	外国人母子の居場所づくりの取り組み (単著) 平成26年4月
論文	教育としての「共生」 (単著) 平成28年3月
論文	移民施策なき日本社会における外国人支援-地域国際国流協会の提言 としての実践 (単著) 令和2年3月
論文	多文化共生政策と地域・コミュニティーコロナ災禍下における現状と未来 に向けた課題— (単著) 令和3年10月
論文	同化主義を乗り越える日本語活動 (単著) 令和3年11月
論文	多文化共生の教育に関する研究動向 (単著) 令和3年9月

教員情報(教職課程 非常勤講師)

教育学部

■ 氏名	大庭 貴如
■ 最終学歴	大阪体育大学大学院 スポーツ科学研究科(修士課程)
■ 学位	スポーツ心理学専攻 修了 修士(スポーツ科学)
■ 担当科目	スポーツ心理学
■ 主な著書・論文	
論文	スポーツ領域における心理支援者の臨床・訓練経験がアセスメント活動に与える影響 (単著) 令和4年3月
■ その他	
学会発表	スポーツメンタルトレーニングにおけるアセスメントの実施動向 (共同) 令和元年11月

芸術学部

■ 氏名	加須屋 誠
■ 最終学歴	京都大学大学院文学研究科美学美術史学専攻博士後期課程学修認定退学
■ 学位	博士(文学)
■ 担当科目	東洋美術史、日本美術史1
■ 主な著書・論文	
著書	『仏教美術論文集』第4巻「図像解釈学」 (共著) 平成25年7月
著書	中世絵画のマトリックスⅡ (共著) 平成26年2月
著書	『天皇の美術史』第二巻「治天のまなざし、王朝美の再構築」 (共著) 平成29年2月
著書	病草紙 (共著) 平成29年5月
著書	記憶の図像学ー亡き人を想う美術の歴史ー (単著) 平成31年2月
著書	地獄めぐり (単著) 令和元年6月
著書	仏教説話画論集 (上巻) (単著) 令和元年11月
著書	地獄絵ARTBOX (単著) 令和元年12月
著書	仏教説話画論集 (下巻) (単著) 令和3年3月
論文	仏教美術における身体ー死の「表象不可能性」をめぐってー (単著) 平成25年3月

教員情報(教職課程 非常勤講師)

教育学部

■ 氏名	金崎 晴美
■ 最終学歴	大阪教育大学教育学部教育専攻科 芸術専攻 修了
■ 学位	学士(教育学)
■ 担当科目	図画工作科指導法
■ 主な著書・論文	
著書	図画工作科教育(新しい教職教育講座 教科教育編 7) (共著) 平成31年3月

教育学部

■ 氏名	川島 康弘
■ 最終学歴	大阪体育大学体育学部 卒業
■ 学位	体育学士
■ 担当科目	水泳
■ 主な著書・論文	
著書	体カトレーニングの理論と実際 (共著) 平成27年7月
著書	体カトレーニングの理論と実際 第2版 (共著) 令和3年3月
論文	試合を控えた女子競技チームに対する心理的コンディショニング (共著) 平成22年3月
論文	国際比較からみた体力測定項目の妥当性について (共著) 平成25年12月
論文	中学生の水泳授業におけるクロールの指導法に関する研究—知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成を結び付ける指導の試み— (共著) 平成30年3月
論文	大学クラブ活動生における「一次救命処置」及び「緊急時対応計画」の学習経験に関する調査 (共著) 平成31年3月
論文	大阪成蹊大学教育学部保健体育教育コースにおける学生の水泳教育に関する実態調査 (共著) 令和4年2月



芸術学部

■ 氏名	川野 憲一
■ 最終学歴	同志社大学大学院文学研究科美学及芸術学専攻博士課程(後期)
■ 学位	単位取得退学 修士(芸術学)
■ 担当科目	日本美術史1
■ 主な著書・論文	
著書	仏教美術論集3 図像学Ⅱーイメージの成立と伝承(浄土教・説話画) (共著) 平成26年5月
著書	特別展図録 須磨の歴史と文化ー受け継がれる記憶ー (共著) 平成28年2月
論文	受け継がれる意思 焼山寺本尊木造虚空蔵菩薩坐像の造形 (単著) 令和元年12月
論文	青蓮院蔵<<不動明王二童子画像>>の位相 (単著) 令和3年9月

経営学部

■ 氏名	河原 和之
■ 最終学歴	関西学院大学社会学部社会学科 卒業
■ 学位	社会学士
■ 担当科目	社会科(地理歴史分野)指導法Ⅰ、社会科(地理歴史分野)指導法Ⅱ
■ 主な著書・論文	
著書	100万人が受けたい「中学地理」ウソ・ホント?授業 (単著) 平成24年6月
著書	100万人が受けたい「中学歴史」ウソ・ホント?授業 (単著) 平成24年6月
著書	大人もハマる地理 思わず誰かに話したくなる151問 (単著) 平成25年10月
著書	スペシャリスト直伝! 中学校社会科授業成功の極意 (単著) 平成26年2月
著書	続・100万人が受けたい「中学地理」ウソ・ホント?授業 (単著) 平成29年4月
著書	続・100万人が受けたい「中学歴史」ウソ・ホント?授業 (単著) 平成29年4月
著書	主体的・対話的で深い学びを実現する! 100万人が受けたい社会科アクティブ授業モデル (単著) 平成29年9月
著書	100万人が受けたい! 見方・考え方を鍛える「中学歴史」 大人もハマる授業ネタ (単著) 令和元年8月
著書	100万人が受けたい! 見方・考え方を鍛える「中学地理」 大人もハマる授業ネタ (単著) 令和元年8月
■ その他	
雑誌	100万人が受けたい! 大人もハマる社会科授業ネタ (単著) 平成29年4月~令和4年(連載中)

教員情報(教職課程 非常勤講師)

経営学部・国際観光学部

■ 氏名	木口 誠一
■ 最終学歴	関西大学 商学部 卒業
■ 学位	商学士
■ 担当科目	商業科指導法Ⅰ、商業科指導法Ⅱ
■ 主な著書・論文	
著書	ビジネス・マネジメント (共著) 平成25年9月
著書	教職のための課題探究によるアクティブラーニング (共著) 平成30年3月
論文	キャリア教育とエンプロイアビリティ (単著) 平成28年3月
論文	知識社会における商業(ビジネス)教育の在り方 (共著) 平成30年3月

教員情報(教職課程 非常勤講師)

教育学部

■ 氏名	北島 奈津
■ 最終学歴	筑波大学大学院体育研究科スポーツ科学専攻修士課程 修了
■ 学位	修士(体育学)
■ 担当科目	ダンス I
■ 主な著書・論文	
論文	ダンス作品における動きの習得方法に関する研究 (単著) 平成19年3月
論文	ダンス指導の現状と問題点に関する報告～大阪市立中学校教員を対象として～ (共著) 平成23年3月
論文	高等学校におけるダンス授業形態に関する一考察～大阪府の教員志望の学生を対象として～ (共著) 令和4年2月

教育学部

■ 氏名	坂本 拓巳
■ 最終学歴	岐阜大学大学院 教育学研究科保健体育領域 修了
■ 学位	修士(教育学)
■ 担当科目	球技Ⅲ(ゴール型)
■ 主な著書・論文	
論文	日本サッカー協会公認キッズリーダーライセンスによるサッカー指導が幼児におけるミニゲーム中の心拍応答に与える影響 (共著) 令和3年6月
論文	週1回のサッカー教室に参加する幼児のミニゲームに対する心拍応答 (共著) 令和4年6月
論文	運動強度および継続時間が男子大学生アスリートの味覚に与える影響 (共著) 令和4年10月
論文	高強度間欠的なスポーツの短時間回復期における過ごし方の違いがその後のスプリントパフォーマンスおよび生理応答に及ぼす影響 (共著) 令和5年2月
■ その他	
学会発表	サッカー選手の間欠的スプリント運動中における血中乳酸動態は競技レベルによって異なる (共著) 令和3年8月
学会発表	砂浜でのサッカーが心拍数および血中乳酸値に与える影響 (共著) 令和3年8月
学会発表	男子大学生アスリートにおける運動継続時間の違いが味覚に与える影響 (共著) 令和3年9月
学会発表	大学サッカー選手の競技レベルの違いが間欠的スプリント運動中における血中乳酸動態に及ぼす影響 (共著) 令和3年9月
学会発表	高強度間欠的なスポーツのハーフタイムにおける過ごし方の違いがその後のスプリントパフォーマンスに及ぼす影響 (共著) 令和3年9月
学会発表	大学サッカー新入部員の血中乳酸蓄積開始点(OBLA)と競技パフォーマンスに関する研究 (共著) 令和4年8月
学会発表	サッカー選手の競技レベルの違いが間欠的スプリント運動中における心拍数及び血中乳酸動態に与える影響 (共著) 令和4年8月
学会発表	血流制限下における運動が糖代謝動態に与える影響～13C-glucoseを用いた検討～ (共著) 令和5年8月
学会発表	高強度運動直後におけるグレープフルーツ精油の匂い刺激がストレスホルモンに及ぼす影響 (共著) 令和5年8月
学会発表	集中的なSleep-Low法の介入効果について持続的パフォーマンス～脂質代謝及び身体組成に及ぼす影響～ (共著) 令和5年8月

芸術学部

■ 氏名	佐藤 真理恵
■ 最終学歴	京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程指導認定(単位取得満期)退学
■ 学位	博士(人間・環境学)
■ 担当科目	西洋美術史1、西洋美術史2
■ 主な著書・論文	
著書	仮象のオリュンポス—古代ギリシアにおけるプロソポンの概念とイメージ変奏 (単著) 平成30年3月
著書	芸術理論古典文献アンソロジー 西洋篇 (共著) 平成26年6月
論文	顔を逃れる顔—古代ギリシア世界におけるアプロソポス試論 (単著) 平成25年3月
論文	“Ritorno all’ apparenza.L’ aspetto materialistico/sovranaturale del <i>prósōpon</i> e dell’ <i>eídōlon</i> ”, (単著) 平成27年12月
論文	仮象のオリュンポス—古代ギリシアにおけるプロソポンの概念とイメージ変奏 (単著) 平成28年3月

教育学部

■ 氏名	末岡 加奈子
■ 最終学歴	大阪大学大学院 人間科学研究科博士後期課程 単位取得満期退学
■ 学位	修士(人間科学)
■ 担当科目	異文化理解、言語文化交流論
■ 主な著書・論文	
著書	世界のしんどい学校－東アジアとヨーロッパにみる学力格差是正の取り組み (共著) 令和元年8月
著書	日本と世界の学力格差－国内・国際学力調査の統計分析から (共著) 令和元年12月
論文	子どもの家庭背景に着眼する教育－オランダのある移民子弟集中校の取り組み事例－ (単著) 平成24年4月
論文	教育的不平等克服に向けた政策と実践－オランダにおける非西洋系児童集中校の事例から－ (単著) 平成25年3月
論文	教育的不平等克服を支えるICTの積極的利活用の可能性－オランダの多文化な教室における実践事例から－ (単著) 平成25年4月
論文	グローバル化時代における貧困予防としての「言語力」－オランダの非西洋系児童集中校の事例から－ (単著) 平成26年6月
論文	英語圏サブサハラアフリカ諸国における「遺伝リテラシー」の意義－‘人類の起源’アフリカにおける「いのちの教育」の観点から－ (共著) 平成27年5月

芸術学部

■ 氏名	高藤 大樹
■ 最終学歴	同志社大学大学院文学研究科美学芸術学専攻博士後期課程修了
■ 学位	博士(芸術学)
■ 担当科目	美学
■ 主な著書・論文	
著書	カルチャー・ミックスⅡ—「文化交換」の美学応用編— (共著) 平成30年3月
著書	カルチャー・ミックスⅢ—「文化交換」の美学的展開編— (共著) 令和2年10月
論文	「近代」芸術と「想像力(Phantasie)—ヘーゲルの芸術哲学における「フォーム」論についての—考察— (単著) 平成25年2月
論文	「世界文学」理念か、無尽蔵な像(イメージ)の生成か—ヘーゲルの『西東詩集』受容についての—考察— (単著) 平成30年3月



芸術学部

■ 氏名	田川 真千子
■ 最終学歴	奈良女子大学大学院人間文化研究科比較文化学専攻博士後期課程修了
■ 学位	博士(文学) 修士(美術)
■ 担当科目	工芸論
■ 主な著書・論文	
著書	九州に残った豊臣氏 豊後国・日出藩主木下家と北政所 (共著) 平成26年10月
論文	「高台寺蒔絵」とは (単著) 平成26年3月
■ その他	
発表	高台寺所蔵 仏涅槃図の保存と修復 (共同) 平成24年7月
発表	秀吉と漆器—桃山時代の漆文化 (単独) 平成29年12月
発表	立涌に桐文様打敷(高台寺打敷)の修理 (共同) 令和2年6月
発表	縄目襷に桜文様唐織等縫合せ打敷(高台寺打敷)の修理 (共同) 令和2年6月

教育学部

■ 氏名	辻 大地
■ 最終学歴	京都造形芸術大学通信教育部芸術学部美術科洋画コース卒業
■ 学位	学士(芸術学)
■ 担当科目	領域(造形表現)
■ 主な著書・論文	
著書	園で人気の切り紙 (共著) 平成26年4月
著書	「脳育・紙こうさく」『のびのび子育て2016年6月号』 (単著) 平成28年5月
著書	四季の花の切り紙ブック (共著) 平成28年9月
著書	「ワクワク電車あそび」『とことことん2016年夏号』 (単著) 平成28年9月
著書	「脳育・紙こうさく」『5つの脳を育てる 男の子の伸ばし方 2019年6月特別増刊号』(単著) 令和元年5月
論文	幼児の表現活動における対話に関する研究－グループでおこなう造形表現の活動事例から－ (共著) 平成30年2月
論文	保育内容(造形表現)における描画題材の設定内容に関する研究－表象能力の発達過程に着目して－ (単著) 平成31年3月
論文	保育内容(造形表現)の描画活動の設定内容に関する仮説の検証－保育実践「楽しかった思い出の絵」の事例検証から－ (単著) 令和2年3月

教員情報(教職課程 非常勤講師)

教育学部

■ 氏名	辻岡 均
■ 最終学歴	関西大学工学部化学工学科 卒業
■ 学位	佛教大学 通信教育課程 小学校免許取得課程 修了 工学士
■ 担当科目	視覚障害総論
■ その他	
教育実践記録	視覚障害重複児の教育について (単著) 平成22年12月
教育実践記録	支援センター(通級、巡回)の取り組み (単著) 平成23年12月
実践ノート	視覚重度障害児の指導について (単著) 令和2年3月

教員情報(教職課程 非常勤講師)

教育学部

■ 氏名	中瀬 浩一
■ 最終学歴	兵庫教育大学大学院 連合学校教育研究科 学校教育実践学専攻
■ 学位	学校教育臨床連合講座博士課程 修了 博士(学校教育学)
■ 担当科目	聴覚障害総論
■ 主な著書・論文	
著書	特別の教育的ニーズがある子どもの理解 (共著) 平成30年2月
著書	新しい教職基礎論 (共著) 平成30年2月
著書	中学校教師として生きる (共著) 令和元年3月
論文	特別の支援が必要な子どもに対して、教育実習を経験した大学生はどのような支援を考えるか？ (単著) 平成30年3月
論文	聾学校における聴能業務と地域支援 (単著) 平成30年3月
論文	教職課程学生を対象とした合意形成に焦点をあてた「学校における合理的配慮」に関する学び (単著) 平成31年2月
論文	ろう学校教員の授業力向上に向けた取り組みー外部専門家としての関わりー (単著) 令和2年2月
論文	授業省察研究と教師の視線配布行動研究 (単著) 令和3年3月

教育学部

■ 氏名	中野 澄
■ 最終学歴	大谷大学文学部文学科 卒業
■ 学位	文学士
■ 担当科目	生徒・進路指導論
■ 主な著書・論文	
著書	スクールソーシャルワーカー実務テキスト (共著) 平成28年5月
著書	「チーム学校」を実現するスクールソーシャルワーク (共著) 令和2年8月
論文	不登校・中途退学の調査結果についてー中学校での不登校の取組に関する考察を中心にー (単著) 平成27年11月
論文	不登校の実態及び不登校児童生徒の状況に応じた取組を推進するためにー教育委員会の役割に関する考察ー (単著) 平成28年11月
論文	今後の不登校対策を考えるための二つの視点ー「継続数」「新規数」で不登校児童生徒の推移を追う意味ー (単著) 平成29年11月
■ その他	
教育実践記録	いじめの有無をどう確認し、どう伝え対応するか (単著) 平成27年8月
教育実践記録	スクールソーシャルワーカー 期待され注目される専門家 (単著) 平成27年9月
リーフレット	キャリア教育・進路指導に関する総合的実態調査「子供たちの「見取り」と教育活動の「点検」」(共著) 平成27年3月
リーフレット	キャリア教育・進路指導に関する総合的実態調査「語る・語らせる・語り合わせるで変える！キャリア教育」(共著) 平成28年3月
研究報告	国立教育政策研究所平成28～29年度プロジェクト研究報告「児童生徒支援加配措置の実証的効果に関する調査研究報告書」 (共著) 平成30年3月

教育学部

■ 氏名	中村 浩也
■ 最終学歴	東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科健康科学専攻
■ 学位	単位取得満期退学 博士(教育学)
■ 担当科目	球技 I (ネット型)
■ 主な著書・論文	
著書	やさしいスポーツ医科学の基礎知識 (共著) 平成28年6月
論文	大学バレーボール競技におけるスポーツ傷害の発生動向に関する研究 (共著) 平成24年10月
論文	大学におけるスポーツ傷害の疫学的研究ーアスレティックトレーニング支援の可能性 (単著) 平成24年12月
論文	大学におけるスポーツ傷害の発生動向に関する研究 (共著) 平成25年2月
論文	アルティメット競技におけるスポーツ傷害の発生動向 (共著) 平成25年3月
論文	ゴルフプレイヤーの主観的疲労度に関する実態調査 (共著) 平成25年3月
論文	学校教育機関におけるスポーツ傷害の管理と予防に関する研究ーアスレティックトレーニング支援モデルによる実践的介入の効果ー (単著) 平成25年9月
論文	後発開発途上国におけるスポーツ医科学支援の現状と課題~カンボジア王国のジュニアユースサッカー大会における救護事例から~ (共著) 平成28年12月
論文	バレーボール選手における肩関節障害と予防に関する考察~肩甲骨と胸郭の機能解剖学的側面に着目して~ (共著) 平成29年3月
論文	後発開発途上国におけるスポーツ医科学支援に関する研究~カンボジア王国ジュニアユースサッカー大会における予防教育と効果 (共著) 平成30年1月
論文	高校体育におけるアクティブ・ラーニングの現状と課題ー体育科教員のアンケート調査からー (共著) 平成30年1月
論文	運動部活動におけるスポーツ事故防止に関する考察 (単著) 平成31年1月
論文	学習指導要領に基づく教育課程の編成原理に関する考察ー生きる力の育成に向けてー (単著) 令和2年2月

教育学部

■ 氏名	灘本 雅一
■ 最終学歴	兵庫教育大学大学院連合学校教育研究科 研究生 修了
■ 学位	体育学士、修士(学術)、博士(学術)
■ 担当科目	球技Ⅱ(ベースボール型)
■ 主な著書・論文	
論文	高校野球の攻撃形式(戦術)の構造化と戦術選択の要因について (共著) 平成25年6月
論文	親子で取り組む運動プログラムによる生活活動の変容が子供のボール 操作能力に及ぼす影響について (共著) 平成28年3月
論文	投球の運動学的総論 (共著) 平成28年3月
論文	戦術の系統に基づいて考案されたベースボール型課題ゲーム教材の積 み上げ単元学習の有効性 (共著) 平成29年3月

教育学部

■ 氏名	丹羽 登
■ 最終学歴	兵庫教育大学大学院教育研究科障害児教育専攻 修了
■ 学位	修士(学校教育学)
■ 担当科目	病弱教育論
■ 主な著書・論文	
著書	病気の子どものガイドブック (共著) 平成24年3月
著書	戦後日本の特別支援教育と世相 (共著) 平成26年4月
著書	慢性疾患の子どもの学校生活編 (共著) 平成26年8月
著書	病弱教育における各教科等の指導 (共著) 平成27年11月
著書	知的障害教育を拓く自立活動の指導 (編著) 令和3年4月
著書	標準「病弱児の教育」テキスト【改訂版】 (共著) 令和4年3月
著書	心身の調和的発達の基盤を培う 自立活動 (編著) 令和4年5月
論文	こころの病気の子どもへの、特別支援教育からのアプローチ (単著) 平成23年6月
論文	病気の子どもの実態に即した弾力的な教育課程の編成 (単著) 平成23年8月
論文	特別支援教育を視野に入れた学校経営①「校長は何をなすべきか」 (単著) 平成23年10月
論文	発達障害のある青年の困難と教育制度 (単著) 平成23年11月



教員情報(教職課程 非常勤講師)

教育学部

■ 氏名	丹羽 ひとみ
■ 最終学歴	洗足学園大学音楽学部マックス・エッガー教授ピアノマスターコース 修了
■ 学位	学士(音楽)
■ 担当科目	表現領域指導法 I
■ 主な著書・論文	
著書	明日歌い継ぐ日本の子どもの歌 (共著) 平成25年5月
論文	小学校教育における音楽と他教科への関連性への意識についてーラ ヴェルのボレロを中心教材としてー (単著) 平成25年12月
論文	学生の聴覚的働きを意識した取り組みーオンラインにおける教員養成課 程のピアノ授業の可能性ー (共著) 令和3年3月
論文	保育者養成課程における音楽教育方法に関する研究ーコロナ禍におけ る「児童音楽 I」の授業を中心にー (共著) 令和4年2月

芸術学部

■ 氏名	埴 美智子
■ 最終学歴	京都大学大学院人間・環境学研究科 共生人間学専攻 修士課程 修了
■ 学位	修士(人間・環境学)
■ 担当科目	現代美術論
■ 主な著書・論文	
著書	空き家の手帖:放っておかないための考え方・使い方 (共著) 平成28年9月
著書	危機の時代を生き延びるアートプロジェクト (共著) 令和3年12月
■ その他	
評論	風穴 もうひとつのコンセプチュアリズム、アジアから (単著) 平成24年3月
総説	music/memory box—藤本由紀夫の音楽 (単著) 平成27年10月
評論	死の劇場-カントルへのオマージュ (単著) 平成27年10月
評論	近くて遠い向こう岸に渡ること (単著) 平成28年3月
総説	國府理「水中エンジン」再制作プロジェクトについて-第2回(全4回):プロジェクトを支えた再制作物語 (単著) 平成29年7月
評論	『二人の耕平』における愛 (単著) 平成31年5月
評論	大学ノートの培地 (単著) 令和2年3月
評論	久保田成子の復讐(とその後)-国立国際美術館「Viva Video! 久保田成子展」(単著) 令和3年8月

経営学部

■ 氏名	橋谷 聡一
■ 最終学歴	筑波大学大学院ビジネス科学研究科博士後期課程企業法コース中途退学
■ 学位	筑波大学博士(法学)
■ 担当科目	ビジネス法学
■ 主な著書・論文	
著書	受託者の善管注意義務・忠実義務の再構成 (単著) 平成28年6月
著書	はじめてのビジネス法 (共著) 平成29年5月
著書	論点解説 民法(債権法)改正と不動産取引の実務 (共著) 平成30年5月
著書	民法・商法からはじめる ビジネス法入門 (共著) 令和5年11月
論文	隣接法律専門職種(司法書士及び行政書士)の職域問題について (単著) 平成26年5月
論文	受託者の費用補償請求権と受益権の放棄 (単著) 平成26年9月
論文	司法書士による民事信託契約書作成の法的根拠の検討 (単著) 平成30年8月
論文	スマートコントラクトを利用した不動産売買 (単著) 令和3年3月
論文	民事信託支援業務と司法書士の責任ー東京地裁令和3年9月17日判決を題材にー(単著) 令和4年6月

教育学部

■ 氏名	橋本 健一
■ 最終学歴	The University of Queensland (Australia). School of English, Media Studies and Art History, PhD program 修了
■ 学位	PhD in Second Language Acquisition
■ 担当科目	第二言語習得論
■ 主な著書・論文	
著書	外国語運用能力はいかに熟達化するか: 言語情報処理の自動化プロセスを探る (共著) 平成26年4月
著書	英語科・外国語活動の理論と実践 (共著) 平成27年5月
論文	タスクが第二言語文理解時における言語情報処理に与える影響: 自己ペース読み課題による検討 (共著) 平成28年12月
論文	Delayed reactivation in processing of VP-ellipsis sentences in L2 English (単著) 平成29年3月
論文	Perception of accented speeches by Japanese EFL learners and its relationship with processing difficulty (共著) 平成29年3月
論文	Building a database of sentence construction familiarity of Japanese EFL learners: pilot study (共著) 平成29年7月
論文	文構造親密度が日本人英語学習者の文理解処理に与える影響~相対的文構造親密度に関する考察~ (共著) 平成29年12月
論文	Lexical-semantic driven processing during sentence comprehension by Japanese EFL learners: Evidence from task effects on on-line processing of linguistic information (共著) 平成30年5月
論文	How lexical familiarity affects reading span: An empirical study with Japanese EFL learners (共著) 令和元年5月
論文	Perceptual training in a classroom setting: Phonemic category formation by Japanese EFL learners (共著) 令和元年6月
論文	Does repeated exposure to segmental sounds improve perceptual ability in non-native speakers? (共著) 令和元年8月

経営学部

■ 氏名	橋本 祥夫
■ 最終学歴	京都教育大学大学院教育学研究科教科教育専攻社会科教育専修修士課程 修了
■ 学位	修士(教育学)
■ 担当科目	社会科・公民科指導法Ⅰ、社会科・公民科指導法Ⅱ
■ 主な著書・論文	
著書	日本公民教育学会編『新版テキストブック公民教育』 (共著) 令和元年12月
論文	社会参画の2方向性に着目した社会科学習の展開—単元「エネルギー問題を考えよう」を事例に— (単著) 平成25年3月
論文	社会参画の思考構造モデルに基づいた価値分析型社会科の授業分析研究—公民学習「歩くまち京都」を事例に— (単著) 平成26年3月
論文	小中学校社会科におけるグローバリズム・ナショナリズムとアイデンティティの教材化-「外国人労働者問題」を事例として- (単著) 平成29年3月
■ その他	
研究成果報告書	「小中学校の社会科教育における外国人労働者問題の教材化」 現代社会の課題を考察する見方や考え方を身につけさせる公民教育カリキュラムの再構築 (共著) 平成29年3月
研究成果報告書	「情報について知ろう」 新科目「公共」を核とした公民教育を小中高等学校で効果的に推進するための調査研究 (共著) 令和2年3月

教育学部

■ 氏名	長谷川 健司
■ 最終学歴	筑波大学大学院体育研究科 体育方法学専攻 修了
■ 学位	修士(体育学)
■ 担当科目	スポーツ経営管理学
■ 主な著書・論文	
論文	企業スポーツチームの運営理念に関する分析 (共著) 平成26年7月
論文	V・プレミアリーグ観戦者におけるファンコミュニティ・アイデンティフィケーション-チーム・アイデンティフィケーション, 行動意図との関係性の検討- (共著) 平成29年3月
論文	日本版顧客満足度指数の観戦者行動への適用 (共著) 平成29年4月
論文	「豊かなクラブライフ」によるアウトカムとは何か: 総合型地域スポーツクラブにおけるアウトカム項目の検討プロセス (共著) 平成29年10月
論文	ファンのチーム支援行動: 組織的アイデンティフィケーション理論を視座に (共著) 令和3年1月

教育学部

■ 氏名	濱口 幹太
■ 最終学歴	大阪産業大学大学院人間環境学研究科人間環境学専攻前期博士課程 修了
■ 学位	修士(人間環境学)
■ 担当科目	陸上競技 I
■ 主な著書・論文	
論文	高校駅伝選手の体力と障害について (共著) 平成26年4月
論文	男子高校生陸上選手の項目別リバウンドジャンプ指数の違いについて (共著) 平成26年4月
論文	一般市民ランナーにおける適切な週間トレーニング回数と月間走行距離 について～ランニング傷害のアンケート調査より～ (共著) 平成26年4月
論文	一般市民ランナーの生活習慣は良いか？－生活習慣に関するアンケート 調査より－ (共著) 平成27年4月
論文	男性一般市民における貧血の実態とその影響要因 (共著) 平成27年4月
論文	市民ランナーの推定最大酸素摂取量と関連する要因について (共著) 平成27年4月
論文	一般市民ランナーの貧血と食習慣・トレーニング状況との関連性 (共著) 平成27年12月
論文	男子大学長距離選手のレース前後の脱水の実態調査 (共著) 平成28年4月
論文	一般市民ランナーを対象とした20mシャトルランおよびトレーニング変数 を用いたマラソンタイム予測式の検討 (共著) 平成30年6月
論文	Comparison of aerobic profiles between the field-based 20m-shuttle run test and the laboratory-based bike ergometer test in runners. (共著) 令和元年9月

教員情報(教職課程 非常勤講師)

教育学部

■ 氏名	樋口 和真
■ 最終学歴	筑波大学大学院 人間総合科学研究科 体育学専攻 修了
■ 学位	修士(体育学)
■ 担当科目	器械運動Ⅰ、体づくり運動
■ 主な著書・論文	
論文	体操競技における「技の狂い」の指導に関する発生運動学的考察 (単著) 令和元年12月
論文	幼児における鉄棒の「前回り下り」に関する発生分析的研究 (単著) 令和2年12月



教員情報(教職課程 非常勤講師)

経営学部

■ 氏名	松本 望
■ 最終学歴	関西大学大学院文学研究科史学専攻博士課程後期課程 修了
■ 学位	博士(文学)
■ 担当科目	日本史概説
■ 主な著書・論文	
著書	大阪市史史料第79輯 大坂町奉行着任時関係史料 (共著) 平成26年1月
著書	大阪市史史料第83輯 享保期新大和川支配替関係史料 (共著) 平成28年9月
著書	「新修大阪市史 史料編」第11巻 近世VI村落1 (共著) 平成30年3月
論文	大坂代官竹垣直道の文事交流 (単著) 平成25年11月
論文	天保期大坂代官と懐徳堂による文事交流 (単著) 平成27年8月
論文	懐徳堂による「逸史」の出版 (単著) 平成28年1月
論文	天保期大坂における漢詩集の出版をめぐる諸動向 (単著) 平成31年2月

経営学部

■ 氏名	三浦 晴彦
■ 最終学歴	関西学院大学大学院経済学研究科博士課程後期課程単位取得満期退学
■ 学位	修士(経済学)
■ 担当科目	財政学
■ 主な著書・論文	
論文	大阪府における地価と居住環境の関係について－地方分権下での自立できる地域の姿をさぐる－ (単著) 平成24年11月
論文	高齢社会における地方行政サービスのあり方についての考察－市の歳出についての資本化仮説の検証－ (単著) 平成27年12月
論文	地方自治体の行財政運営における評価システムの構築－保育サービスのBSC (Balanced scorecard) 作成－ (共著) 平成31年3月
論文	地方行政サービスの資本化仮説の検証－広域行政の効果についての考察－ (単著) 令和元年6月
論文	非裁量要因を考慮した上水道事業の効率性に関する研究－非効率性を生み出す裁量要因の検証－ (共著) 令和3年3月

経営学部

■ 氏名	水谷 聡秀
■ 最終学歴	関西大学大学院社会学研究科社会心理学専攻博士課程後期課程
■ 学位	単位取得修了 修士(社会学)
■ 担当科目	心理学概論
■ 主な著書・論文	
論文	小中高時代のいじめ経験が大学生の自尊感情とWell-beingに与える影響 (共著) 平成27年6月
論文	ハイダーのバランス原理による相互作用での時系列変化—インバランス度と非対称性について— (単著) 平成28年8月
論文	ハイダーのバランス原理による動的過程の分析—更新の同期性やトライアド選択型、転移、ソシオメトリ指標が収束と心情布置に与える影響 (単著) 平成29年2月
論文	否定的心情が集団現象における社会測定的地位に与える影響—Heiderバランス原理による相互作用モデルを用いて (単著) 平成30年8月

教員情報(教職課程 非常勤講師)

経営学部・国際観光学部

■ 氏名	南谷 雄司
■ 最終学歴	放送大学大学院 文化科学研究科 人間発達科 修士全科生 修了
■ 学位	修士(教育学)
■ 担当科目	職業指導
■ 主な著書・論文	
著書	日本と世界の職業教育 (共著) 平成25年4月
著書	手のひら宇宙No2 (共著) 平成27年4月
著書	コロナ時代の経済復興 (共著) 令和2年8月
論文	大学等の連携体制についてー総合高専構想と商業高専ー (単著) 平成26年8月
論文	商業教育と商業高専の未来について (単著) 平成28年1月
論文	知識社会における商業ービジネス教育の在り方ー (共著) 平成29年8月

教員情報(教職課程 非常勤講師)

経営学部

■ 氏名	宮原 朋子
■ 最終学歴	関西大学大学院 博士課程後期課程 心理学研究科心理学専攻応用心理学特殊研究 修了
■ 学位	博士(心理学)
■ 担当科目	心理学概論
■ 主な著書・論文	
論文	A Psychological Experiment on the Correspondence between Colors and Voiced Vowels in Non-Synesthetes (共著) 平成24年2月
論文	リズムと形の弱い共感覚について (単著) 平成24年1月
論文	弱い共感覚における感覚的対応と意味的対応について-MT・IAT・SCTの比較- (単著) 平成24年7月

教育学部

■ 氏名	村田 絵美
■ 最終学歴	大阪大学大学院 大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学 連合小児発達学研究所 小児発達学専攻博士後期課程 修了
■ 学位	博士(小児発達学)
■ 担当科目	知的障害者の心理・生理・病理、病弱者の心理・生理・病理、障害者の生理病理と指導の方法
■ 主な著書・論文	
論文	大阪府堺市における4・5歳児発達相談事業後の支援として短縮型ペアレント・トレーニング(堺市版)の試み (共著) 平成26年1月
論文	日本の小学生の睡眠習慣と睡眠に影響を及ぼすライフスタイルについての大規模調査 (共著) 平成26年11月
論文	Gaze Finder (Ka-o-TV)を用いた自閉スペクトラム症の早期診断指標の開発～1歳6ヶ月乳幼児健診における活用に向けて～ (共著) 平成27年4月
論文	Evaluation of behavioral change after adenotonsillectomy for obstructive sleep apnea in children with autism spectrum disorder (共著) 平成29年6月
論文	Evaluation of the Validity of Psychological Preparation for Children Undergoing Polysomnography (共著) 令和2年2月
論文	An Interactive Smartphone App,Nenne Navi,for Improving children's Sleep:Pilot Usability Study (共著) 令和2年12月
論文	Sleep and the General Behavior of Infants and Parents during the Closure of Schools as a Result of the COVID-19 Pandemic:Comparison with 2019 Data (共著) 令和3年2月
論文	Improving Children's Sleep Habits Using an Interactive Smartphone App: Community-Based Intervention Study (共著) 令和5年2月
論文	What daily factors affect the sleep habits of Japanese toddlers? (共著) 令和5年2月

教員情報(教職課程 非常勤講師)

経営学部

■ 氏名	森山 徹
■ 最終学歴	同志社大学大学院神学研究科歴史神学専攻博士課程後期 修了
■ 学位	博士(神学)
■ 担当科目	人間と宗教
■ 主な著書・論文	
論文	再臨信仰と内村鑑三のユダヤ観(上) (単著) 平成23年4月
論文	再臨信仰と内村鑑三のユダヤ観(下) (単著) 平成24年4月
論文	宗教・道德教育における双方向コミュニケーション (単著) 平成25年6月

芸術学部

■ 氏名	山下 晃平
■ 最終学歴	京都市立芸術大学大学院美術研究科博士(後期)課程芸術学領域 修了
■ 学位	博士(美術)
■ 担当科目	工芸論
■ 主な著書・論文	
著書	日本国際美術展と戦後美術史ーその変遷と「美術」制度を読み解くー (単著) 平成29年12月
著書	美学の事典 (共著) 令和2年12月
論文	大型美術展の構造変化とその位相ーアーティストと鑑賞者との新たな関係性からー (単著) 平成25年3月
論文	日本国際美術展(東京ビエンナーレ)再考ー戦後日本における国際美術展の志向性ー (単著) 平成26年12月
論文	日本国際美術展(東京ビエンナーレ)再考ー戦後日本の美術史形成に関する研究ー (単著) 平成27年3月
論文	戦後日本における大型美術展の変容と制度としての「美術(芸術)」ー60年代、「国際的同時性」の文脈をめぐりー考察ー (単著) 平成28年3月
論文	「JAPAN牛窓国際芸術祭」考ー80年代、野外美術展の変質と「美術」制度ー (単著) 平成29年6月



教員情報(教職課程 非常勤講師)

教育学部

■ 氏名	横山 和子
■ 最終学歴	佛教大学大学院(通信教育課程)教育学研究・生涯教育専攻修了
■ 学位	修士(教育学)
■ 担当科目	家庭科内容論、家庭科指導法
■ 主な著書・論文	
著書	食と学びの力 (共著)平成28年4月
著書	小学校の教師をめざす人のための「小学校家庭科」指導テキスト (共著)平成30年3月
著書	暮らしを見つめて、そこから始める持続可能な社会 (共著)平成31年4月
論文	持続可能な社会の構築をめざす家庭科教育の開発研究—学校における消費者教育の変遷と事例分析に基づいて (単著)平成31年3月
論文	小学生に行事食を伝承する伝承価値と意義—小学校における指導を通して— (共著)平成31年3月

教育学部

■ 氏名	横山 誠
■ 最終学歴	大阪体育大学大学院体育学研究科 修了
■ 学位	修士(体育学)
■ 担当科目	野外活動
■ 主な著書・論文	
著書	海洋スポーツ・レクリエーションテキスト (共著) 平成30年7月
著書	ボランティアを始める人のための「サービスマーケティング入門」ーボランティアを通じた学びー (共著) 令和3年9月
論文	キャンプにおける安全教育が参加者の危険認知能力の向上に及ぼす効果に関する研究 (共著) 平成28年2月
論文	キャンプが児童のアサーションに及ぼす影響 (共著) 平成28年3月
論文	水辺遊び時の子どもと同伴者の不安全行動および水浴場の管理体制について (共著) 平成29年10月
論文	本学海洋・野外スポーツ実習における参加学生の活動量と給与栄養量についてー食育・健康教育の重要性ー (共著) 令和2年4月
論文	地域活性化をテーマとした課題解決型学習の成果に関する考察ー交流人口増加を目的としたウォーキングコース開発事例よりー (単著) 令和3年3月
論文	レクリエーション・インストラクターの取得動機と活動状況について (共著) 令和3年7月

看護学部

■ 氏名	吉川 貴仁
■ 最終学歴	大阪市立大学大学院医学研究科博士課程内科系専攻 修了
■ 学位	博士(医学)
■ 担当科目	疫学・保健統計学、人体の構造と機能Ⅰ、人体の構造と機能Ⅱ、病原微生物と免疫、疾病治療論Ⅲ
■ 主な著書・論文	
論文	高強度運動におけるHuman- $\beta$ -defensin-2の変動と唾液抗菌活性の検討 (共著) 平成24年4月
論文	Comparison of salivary antimicrobial peptides and upper respiratory tract infections in elite marathon runners and sedentary subjects. (共著) 平成24年5月
論文	Relationship between appetitive motives and non-exercise lifestyle in a young adult population. (共著) 平成25年4月
論文	Neural regulatory mechanism of desire for food: revealed by magnetoencephalography. (共著) 平成26年1月
論文	Suppressive responses by visual food cues in postprandial activities of insular cortex as revealed by magnetoencephalography. (共著) 平成26年6月
論文	Association of fatigue with emotional eating behavior and the response to mental stress in food intake in a young adult population. (共著) 平成26年9月
論文	Visual food stimulus changes resting oscillatory brain activities related to appetitive motive. (共著) 平成28年9月
論文	特集:気管支喘息-最新の診断と治療-運動誘発喘息(EIB) (単著) 平成28年10月